

# 警城時報

日二廿  
編輯兼發行 岡田 弘成  
印刷所 加納活版所  
發行所 警城時報社  
一部金貳圓 二ヶ月金貳圓  
廣告料 一行十二字 五十錢  
日刊(日曜祝祭日)翌日休刊

## 平町の火保料金 千分の八に引下げ

### けふ協会で発表 平町の利益一ヶ年六萬圓

### 兵事主任會 終つて觀楓會

平町では屋上制限が完全で、消防組の組織内容が縣下随一であるにも拘はらず、火災保険料金が高率で千分の十一以上であるため、昨一月九日午前九時から小川引下げを協同組合に交渉中であつたが、その努力が酬えられ千分の八に引下げの事案を協同組合で認め、昨一月九日午後九時、小川村部部長、小川村部副部長、小川村部員、小川村部役場に開くが、同席で平町は一ヶ年六萬圓宛利益を見るわけである。

## 市制施行の概要

### 平窪全村に配布 井上助役が脱稿

### 合併氣運愈々好轉

平市制施行の必要條件である平窪の兩町村合併問題は、平窪村民の合併氣運が好轉し、平窪村側で過般來部脱落してはゐるけれども、尚ほ毎に座談會を開き意見取纏一層の努力を拂つて村民に中の處大に於て村民も市制實施の概要を知らしむる納得し合併の氣運が濃厚となり、井上助役の手でなつて來たので、同村では二市制實施の概要を起稿中の十六日頃村會を開き合併に處出來上つたので、同村は併し平窪村から平町に要求レットを平窪村民に配布する條件を調査し平町に交する事になつた。同レットに關する委員を選任するまでレットの内容は左の如きものである。

## 木炭査定會 迫經濟部長臨席

縣下木炭査定會は迫經濟部長以下を迎へて、二十二日午前九時から平窪會議室で開いたが、出席木炭内譯左の如く合計百八十二俵である。

- 一、市制促進の理由
- 二、市の存在
- 三、都市計畫法に依る道路下水の國庫補助
- 四、建築法に依る防火建築防火壁補助
- 五、商工會議所の權威
- 六、交通と都市の關係
- 七、金融機關と都市と町村との差異
- 八、都市と所得稅價格調査員の獨立
- 九、都市と教育機關
- 一〇、通信機關との都市行政地域擴大の要
- 一一、純農村と都市
- 一二、人口増加率と農業國策
- 一三、平町の財政と資源
- 一四、特別戶數割の比較
- 一五、産業道路と農村

## 樺太炭の進出で 脅かされる小炭礦

### 供給區域を蠶食

一昨年あたりまで年産百萬東京市場に於いて三割以上を占めていた樺太炭、四割近くは安値にあるので、界は軍需氣運に煽られ、昨一昨年樺太炭との市場競争は頗る困難な立場に置かれてゐる。右について某炭礦主は、語ると、樺太炭の進出は實に目覚ましいものがあり、昨年あたりは東京へ百萬噸近く陸上されてゐる程である。樺太炭は半無煙であり、殊に火力は常磐炭より強く、価格は安いので、家庭用としても非常に歡迎されてゐる。同炭の中央市場への進出は實に吾が常磐炭の一大脅威で、何等かの方法により善後策は講じなければならぬ。

## 高女のバザー

警城高等女學校では二十五日、二十六日兩日バザーを催はす。

## 出鱈目の神のお告げ 祈禱師の詐欺

### カツギ屋が御難

小名濱町字定西三三居住高の祟りがないと出鱈目を言知縣土佐郡朝倉村生れ家相つて之要する費用と稱し、二見業渡邊政吉(五三)は昨年十月十圓を騙取し更に本年二月月中豊岡村針山甚松方を訪中、小名濱町字定西和田義三、針山甚松方の病床にあつた雄方に至り家相が悪いから、キナ鐵ブドー酒を買つて出雲大社の靈を受けろと六來るやう依頼され三圓を横圓五十錢を詐取、三月中は領、十一月中小名濱町に江名町中作某酒店で同様三柳内熊吉方に至り同家内に十圓を着服した事發覺詐欺大骨が埋つてゐるから出雲横領として平窪に檢舉され、大社の分靈を受ければ後日た。

## 妻を女給に賣つた男 旅館で毒をのむ

長野縣直科郡松城町五三日ラズのみ自殺を企てたの、長澤清三郎(三四)は去る十を女中が発見安濟醫師を呼九日から平町白銀町旅館水び手當を加へたので生命は戸屋に止宿しカフエー天地取止める模様である。

## 瑞芳寺改築 内郷

瑞芳寺は今度工費一萬餘圓で改築中である。

## 川岸通りの 舗装工事

### 近く着工

平町では本町通り裏を貫流する愛谷江筋の水路を暗渠として自動車道路に改修し、市街地とする計劃をたて、江筋組合に交渉の結果使用權として一時金三百五十圓を、九月中平町二丁目大黒屋酒店から酒一升、八月三日午後十時頃平機關庫事務室で銀時計を窃取未遂。

## 金を取つて 品を送らぬ

田村郡瀧根村大字神俣村、川先崎實君は去月二十四日、平町六丁目大塚駒太郎に生豚一頭を十九圓五十錢で買り、内金一圓五十錢を受取り、残り十八圓を仔豚二頭を貰ふ約束をしたが、何回催促しても言を左右にして送らなかつたので、先崎は憤慨し大塚に、残金十八圓を仔豚二頭を貰ふ約束をしたが、何回催促しても言を左右にして送らなかつたので、先崎は憤慨し大塚に、

## 市制實施の概要

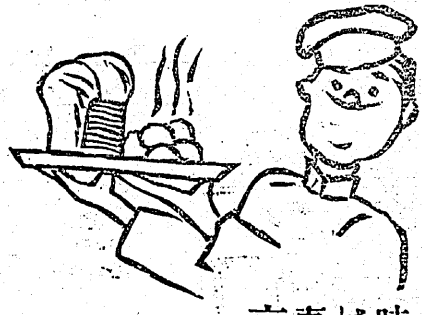
### 一、市制施行の利益

平町は人口其他の自然増加を俟たず市制促進を企圖するは如何なる理由に依るかとは一應當然の質問である。故に市制を施行するに際しては、其の利害關係は、獨り平町獨りの立場に於てのみ關係を生ずるものにあらず、廣義的に見れば本郡地方全体に利害關係が波及する存在なることを認識せられ度思ふのであります。

一、市の存在は町村とは違ひ特種の待遇と恩典とが加はります。其二、市の例を示せば、(イ)道路、下水の改築工事を爲すに當り都市計畫法に依り多大の國庫補助費を要求することが出来ます。(ロ)都市建築物に對し建築法に基き防火建築、防火壁の構造を爲す場合に、建坪壹坪金五拾圓以内の補助制度があり、(ハ)商工省の認可制に依り商工會議所を設け、市の産業開發若くは商工業等の誘致分配を決議し權威ある産業機關と爲すことを得るのであります。

(ニ)金融機關の充實は産業に及ぼす影響甚大なるは申すまでもなく、平が市となれば、興業銀行の出張所を設置し、最低金額貳百圓まで無擔保貸付を爲す規定になつて居ります。亦農工銀行に於ても平窪が市となれば、田畑宅地を市街地と見て金融することを、なり町村とは全然別個の取扱を受くる資格を有し、家庭工業又は手藝品製作の如き若くは農業經營者に、頗る便利を與へらるゝ事となるのであります。

(ホ)交通量に於ては第六號國道、即ち濱街道が、縣下第一であり、原則的に論ずれば、先づ第一に勿來、久の濱間を國道改良の第一歩とし、舗装道を起工するを適當なりと信ず。



**味は東京**  
高級パン  
洋生菓子  
ジャム・バター  
自製ビスケット  
カステラ

金牌受領  
美味新鮮  
米の母入  
養食パン

ペーカリー  
東京堂

平町小橋小路  
電一〇八番

**石城中小商工互融會**  
事務所 福島縣平町橋小路二番地  
小名濱方部 湯本方部  
小名濱町古港 湯本町天王崎  
菊田方部 相双支部  
植田町臺町 原町東一番町

太平火災海上保險株式會社平中央代理部

**互融會事業近況**  
融通自九月一日現在  
報告至九月卅日

一、社會公共事業及慈善事業ノ奉仕  
二、精神修養講話會  
三、會員ノ吉凶慶弔  
四、會員相互見舞  
五、人事相談及婚姻ノ媒介  
六、診療救急ノ補助  
七、税金ノ代納事務取扱  
八、會費後刊  
九、勤儉日積立金ノ獎勵  
十、小資本金ノ相互融通

融通金額四一・八六六〇七  
融通金回収高 九・二六二・〇〇

**かまぼこ大造**  
**折詰生魚**  
お惣菜用さつま揚・吉原揚  
平町一丁目  
電話一四一一番

大型貸切の御相談は  
**尼子タクシー**  
電話六四〇番

**和洋銅鐵金物問屋**  
**火釜屋商店**  
諸橋久太郎  
電話九九番

**理髮 東京**  
平町三丁目警察署通り  
親切は「理髮・東京」の出発点  
誠實は「理髮・東京」の生命線

**吸入用酸素** 純度99%  
体温器  
寒暖計

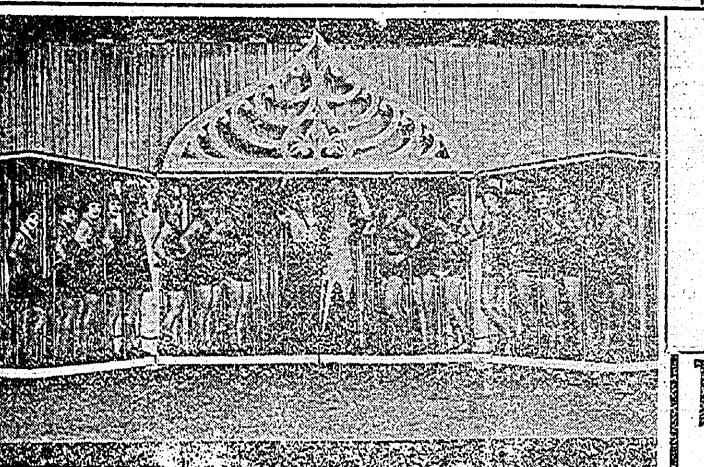
**内藥局**  
電話四〇番

**皮膚科 泌尿器科 花柳病科**  
開院  
診療時間 午前八時ヨリ  
午後九時マデ  
平町田町(山内醫院跡)  
**江尻醫院**  
電話六九一  
入院隨意 醫學博士 江尻伊三郎

**腸胃科 性病科**  
胃腸病科  
花柳病科  
泌尿器病科  
皮膚病科  
肛門病科

**松村村科**  
性病科 腸胃科  
院醫科 (番七〇一電) 町南町平

**北川外科**  
内臓外科 レントゲン科  
平町新川町(諸橋醫院跡)  
醫學博士 北川芳夫  
小林良次  
電話四六四番



**天勝師來る**  
館樂聚於間日二の七廿・六廿

當擔醫門專外各  
**院病濟共** 磐城  
久喜部谷長 士博學醫 長 院  
番一四六話電・町平

RESTAURANT.  
TEA AND WINE  
洋食 喰  
**コンパル**  
平町電六六六番

**油と味噌**  
**合**  
福島縣平町  
**鹽屋**  
電話(營業部專用)一〇番  
一般用 二七番  
振込東京一九七五五番